

令和5年度第3回千葉県図書館協議会 次第

日 時 令和6年3月13日（水）

午後2時から

場 所 千葉県立西部図書館研修室

1 開 会

2 議長あいさつ

3 議 事

(1) 千葉県立図書館行動計画（令和3年度～5年度）の実施状況及び評価について（協議）

(2) 千葉県立図書館行動計画（令和6年度～8年度）（案）について（協議）

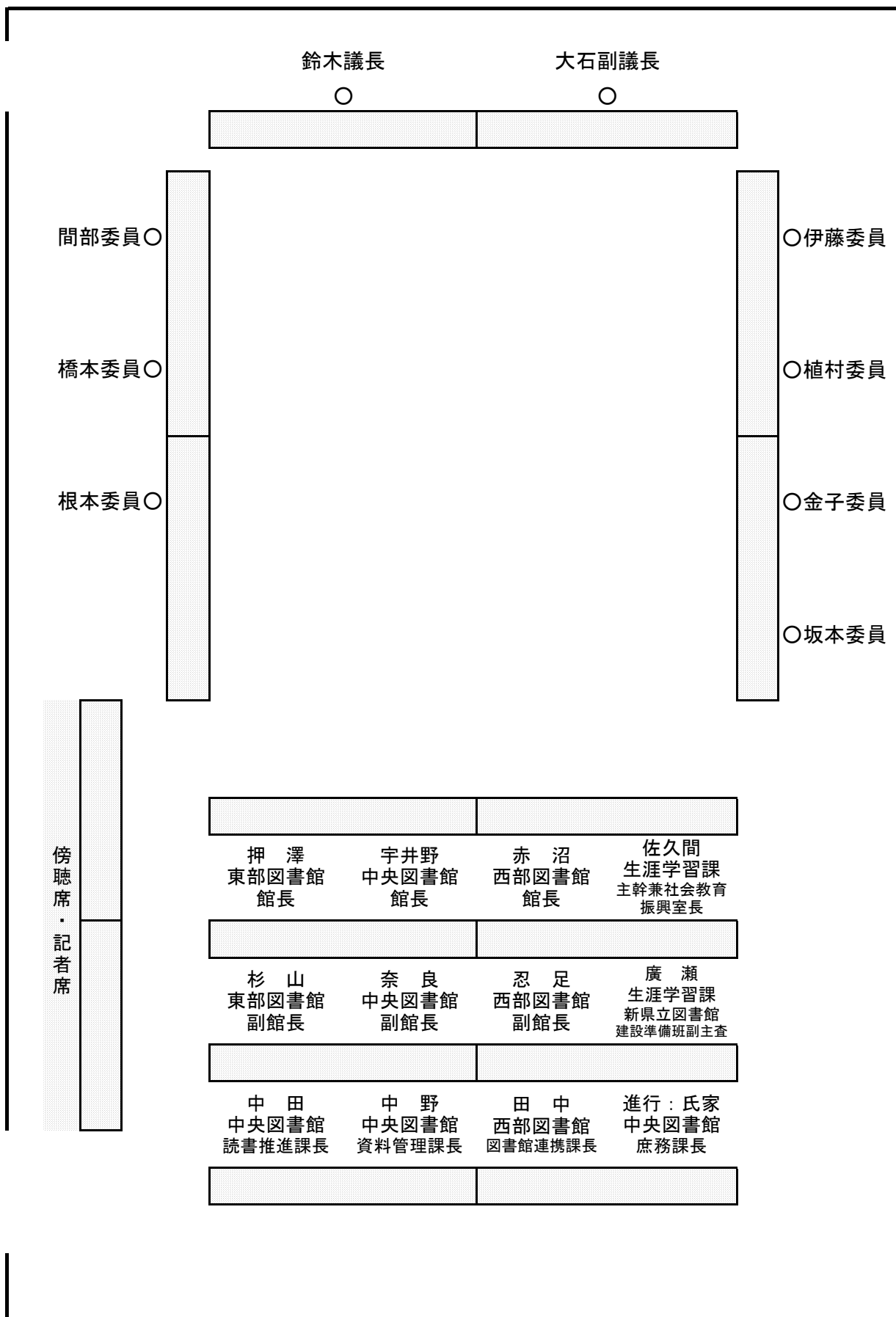
(3) 令和6年度千葉県立図書館当初予算（案）（報告）

(4) その他

4 その他

5 閉 会

令和5年度第3回千葉県図書館協議会 座席表



千葉県図書館協議会委員名簿（第37期）

任期 令和5年7月22日～令和7年7月21日

No.	氏 名	所 属 等
1	伊藤 明美 <small>いとう あけみ</small>	千葉大学非常勤講師 (社会福祉法人芳雄会図書顧問・司書)
2	植村 八潮 <small>うえむら やしお</small>	専修大学文学部教授
3	大石 由香 <small>おおいし ゆか</small>	山武市松尾図書館長 (千葉県公共図書館協会理事)
4	金子 和男 <small>かねこ かずお</small>	千葉県立松戸南高等学校長 (千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会副会長)
5	坂本 知子 <small>さかもと ともこ</small>	千葉県PTA連絡協議会副会長
6	○ 鈴木 宏子 <small>すずき ひろこ</small>	前千葉大学附属図書館利用支援企画課長
7	根本 彰 <small>ねもと あきら</small>	東京大学名誉教授
8	橋本 房子 <small>はしもと ふさこ</small>	千葉県特別支援学校PTA連合会副会長
9	土生こずえ <small>はぶ こずえ</small>	木更津市立八幡台小学校長 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会副会長)
10	間部 豊 <small>まべ ゆたか</small>	帝京平成大学人文社会学部准教授

[敬称略 五十音順] ○：議長

令和5年7月22日現在

千葉県図書館協議会関係条例・規則

教育機関設置条例(抜粋) (昭和三十二年四月一日条例第四号)

(図書館協議会)

第五条 図書館に図書館協議会を置く。

2 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、十人以内とする。

4 第二項の委員の任期は二年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前三項に定めるもののほか、図書館協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

図書館協議会会議運営規則 (昭和三十二年八月三十一日教育委員会規則第十号)

第一条 図書館協議会会議(以下「会議」という。)には、委員の互選による議長及び副議長一人を置くものとする。

第二条 議長及び副議長の任期は二年とする。

第三条 議長は会議を主宰する。

第四条 副議長は、議長を助け、議長に事故あるときは、その職務を行う。

第五条 会議は、議長が招集する。

第六条 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議決は、出席者の過半数で決める。

第七条 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、議長が、あらかじめこれを通知しなければならない。

第八条 招集は、開会の日前、七日までに、これを通知しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない。

第九条 会議は、定例会及び臨時会とする。

第十条 定例会は、年三回以上これを招集しなければならない。

第十一条 臨時会は、必要がある場合においてその事件に限りこれを招集する。

第十二条 会議招集の通知後に急を要する事件があるときは、第七条の規定にかかわらず、直ちに、これを会議に付議することができる。

第十三条 関係職員は、会議に出席して意見をのべることができる。

第十四条 この規定に定めるもののほか、会議に必要な事項は別にこれを定める。

第十五条 会議に関する庶務は千葉県立中央図書館で行う。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和三十二年四月一日教育委員会規則第二号)

この規則は、公布の日から施行する。

令和5年度千葉県立図書館各館長等一覧

中央図書館	西部図書館	東部図書館
館長 宇井野 哲男 ウイノ テツオ	館長 赤沼 知里 アカヌマ テサト	館長 押澤 裕子 オシザワ ヒロコ
副館長 奈良伸 一郎 ナラ シンイチロウ	副館長 資料管理課長 事務取扱 忍足 哲也 オシダリ テツヤ	副館長 資料管理課長 事務取扱 杉山 裕子 スギヤマ ユウコ
庶務課長 氏家 麻奈 ウジイ マナ	庶務課長 松井 真一 マツイ シンイチ	庶務課長 香取 雅昭 カトリ マサアキ
読書推進課長 中田 江美 ナカダ エミ	読書推進課長 平塚 明子 ヒラツカ アキコ	読書推進課長 若本 朋子 ワカモト トモコ
資料管理課長 中野 晶子 ナカノ アキコ		
ちば情報課長 大森 明香 オオモリ サカ		
図書館連携課長 伊藤 孝 イトウ タカシ	図書館連携課長 田中 雅美 タナカ マサミ	図書館連携課長 伊藤 健司 イトウ ケンジ

千葉県立図書館行動計画(令和3年度～5年度)における主な取組

(令和6年1月末現在)

役割・機能	重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見直しを含む)
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 【相談事業等の推進】 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行うとともに、電話やメール等を通じた相談を随時行う。	【市町村立図書館等への貸出し】 ・教育機関対象の研修会等で広報活動を実施 ・R6.3 市町村立図書館等窓口案内用広報物を配布予定 【相談事業等の推進】 ・全市町村を訪問し運営相談を実施 R5実績：(中央)延べ40箇所(西部)11箇所(東部)延べ36箇所 ・電話やメール等を通じた相談を随時実施 ・市町村立図書館等相互協力担当者会議を4月～5月に開催
		【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題について市町村立図書館等に運営相談を通じて聴取するとともに、全県でアンケートを実施し、新館整備に向けて検討を進める。	【新館における物流体制の検討】 ・R4.12 県立図書館連携課長会議開催 ・R5.02 県内市町村図書館等へのアンケートを実施 ・R5.08 図書館システム導入に関する情報提供依頼(RFI)実施
		【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・先行する図書館や団体等に個別調査を行う。 ・課題等について市町村立図書館等と情報交換を進め、県内の保存体制のモデル案を検討する。 ・市町村立図書館等が最後の1冊を確認できるよう今後の電算システムに盛り込む機能を検討する。	【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・R3～R4 国内の先行事例等を調査、意見聴取(案)を作成 ・R5.10 県内市町村立図書館等への意見聴取を実施
2 図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果の分析をし、研修プログラムの充実を図る。	【経験別研修】 ・新任職員研修、中堅職員研修を実施 【分野別研修】 ・児童、レファレンス、障害者、学校図書館運営、課題解決支援、地域行政、大学連携を実施 【研修結果の分析】 ・各研修時のアンケート結果を分析し課題を整理
		【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、遠隔開催や地域別開催を実施する。	【研修機会の拡充】 ・会場と遠隔(ライブ配信・アーカイブ配信)を併用する形など研修の内容や規模に応じた方法で実施 ・R4～ 新任職員研修をオンライン併用・3館共催で開催 ・R5～ 一部の研修会を管内市立図書館で開催(中央)
		【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	【研修内容のアーカイブ化】 ・他県等に対する調査項目などを検討 ・図書館ホームページで、研修内容や事業報告の公開を開始

役割・機能		重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見直しを含む)
3	子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	【児童資料の研究支援の推進】 ・児童文学研究や子どもの読書に関する活動に役立つ資料を揃え、子どもと児童文化に関する情報を蓄積するとともに、調査研究活動を支援するツールを提供する。	【児童資料の研究支援の推進】 ・児童資料研究書を継続して収集 ・利用促進のための展示を児童資料室内で実施
			【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育て支援関連資料の継続収集 ・「図書館から世界(ニュース)が見える」を作成 ・R5 子育てに関するパンフレット等の収集・提供
			【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等を参考に方法を検討する。	【児童書の網羅的収集の検討】 ・R4 山口県立山口図書館と滋賀県立図書館を訪問調査 ・調査結果を分析、事業化を検討中
			【新しいサービスの研究開発】 ・図書館利用の困難な子どもや保護者について、実態把握に努め、利用支援方法を検討する。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの全県でのサービス充実を目指す方策を検討する。 ・地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物を発行する。	【新しいサービスの研究開発】 ・活字での読書に障害がある子ども向けの児童資料の継続収集 ・R3 子どもの読書活動推進センター通信創刊(年2回発行) ・R4 子どものための多文化サービス計画策定 ・R4 外国語児童資料の収集方針改定 ・R5.8 県内公立図書館、県立高等学校、市町村立中学校にヤングアダルトサービスに関するアンケートを実施
	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進め、ニーズを把握するとともに、未登録校への広報活動を実施する。	【県立学校等への貸出し】 ・未登録校に新規登録及び利用促進のため案内文書を送付	【相談事業の充実】 ・(西部・東部)高校図書館訪問運営相談を実施 ・(中央)高校読み聞かせ講座に講師派遣 ・(西部)高等学校図書館相互協力担当者会を開催 ・(東部)学校図書館運営研修会を実施 ・R5.3 県立学校にアンケートを実施
			【学校貸出セットの充実】 ・貸出セットについて、内容の検討及び整備を推進する。 ・要望の多い貸出セットを調査、把握し必要性の高いものの重複購入を進める。	【学校貸出セットの新規整備・改訂】 ・R3: 10セット、R4: 10セット、R5: 11セット ・図書館ホームページ、県教委NEWS(10月-1号)に更新状況と利用案内を掲載
			【生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等の実施】 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	【生徒向け読み聞かせ講座】 ・R3: 8校、R4: 7校、R5: 7校、計22校 【世界とふれあうおはなし会】 ・R4: 1校、R5: 1校 【図書館活用講座】 ・R3: 1校

役割・機能		重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見直しを含む)
			<p>【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援を行う。 <p>【特別支援学校への読書支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。 <p>【探究学習支援への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書単元・テーマ別資料リストについて、順次内容の追加・改訂を進めるとともに、市町村立図書館等を通じて周知を図る。 ・図書館を使った授業等についての情報発信を進める。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。 	<p>【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館運営相談時に連携状況を把握 ・教科書単元・テーマ別資料リストの更新・作成 ・市町村立図書館等に小・中学校への資料リストの周知を依頼 ・小・中学校への資料貸出の傾向を把握し、市町村立図書館等読書施設での資料購入(選書)を支援 ・市町村立図書館等経由で小・中学校に資料貸出し (R3:683冊、R4:824冊、R5:780冊、計2,287冊) <p>【特別支援学校への読書支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を訪問し、おはなし会や運営相談を実施 <p>R5実績:(中央)12校訪問(うち未訪問1校) (西部)11校訪問(うち未訪問2校)、電話相談3件 (東部)11校訪問(うち未訪問1校)</p> <p>【探究学習支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・《再掲》教科書単元・テーマ別資料リストの更新・作成、小・中学校への周知依頼(R3:中学校理科、中学校社会科、R4:中学校国語科、R5:小学校国語科) ・教科書単元・テーマ別資料リストを使った授業レポートを紹介 ・本を使った授業レポートを紹介 ・探究学習についての利用支援方法の検討 R5「高校生向け調べ方案内(パスファインダー)」の更新
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	<p>【課題解決支援サービスの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。 	<p>【法律情報支援サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(中央)県民向け「暮らしに役立つ法律・判例情報講座」(年2回) <p>【医療情報支援サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(西部)H25開始サービスを評価・分析し今後の展開を検討 <p>【シニア支援情報サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(東部)「はつらつライフなび」コーナーで関連展示 ・(東部)県民向け「はつらつライフ講座」(年1回) ・(東部)R5～音読教室(年3回) <p>【資料の収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスファインダー発行 16件(R3:5件、R4:4件、R5:7件) ・R3 郵送登録サービス開始 ・R5.4 館内閲覧資料取り寄せフォーム開設 ・R5.7 複写サービスオンライン申込みフォーム開設 ・R5.10 図書館ホームページ「法律・判例情報サービス」の充実 <p>【行政課題等の解決に資する資料の収集・提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁内掲示板にテーマ別資料一覧を掲示し情報を提供 ・県庁への情報提供サービスの実施 (R3～R5の利用:6,418冊(うち出先機関1,618冊))

役割・機能	重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見通しを含む)
		<p>【レファレンス事例の一般公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。 	<p>【レファレンス事例の一般公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館レファレンス協同データベース登録 107件 (R3: 52件、R4: 36件、R5: 19件) (国立国会図書館長からの礼状を12年連続受領)
		<p>【県民向け講座の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。 	<p>【県民向け講座の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立3館の特長を活かして法律、科学、文学等の講座を開催 (中央) 菜の花ライブラリー活用講座、データベース活用講座 《再掲》くらしに役立つ法律・判例情報講座 (西部) 健康・医療情報講座、サイエンス・カフェ (東部) 文学講座、歴史講座、音読教室 《再掲》はつらつライブ講座
		<p>【時事問題等に関する情報提供サービスの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリストやリンク集等の作成、提供を行う。 	<p>【時事問題等に関する情報提供サービスの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「図書館から世界(ニュース)が見える」作成28件 (R3: 11件、R4: 11件、R5: 6件) ・資料展示のブックリスト作成43件 (R3: 8件、R4: 18件、R5: 17件)
		<p>【電子書籍の導入の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍について費用も含めた導入の検討を進める。 	<p>【電子書籍の導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県導入館から情報を収集し検討 ・R5 令和6年度当初予算(案)に電子書籍導入経費を計上 ・R5 サービストライアルを実施、サービス内容を検討 <p>【商用データベースの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の調査・研究に資する商用データベースを導入 (県立3館で25種類運用)
		<p>【新館整備に向けた資料管理の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き重複図書、雑誌の除籍を進める。 ・各館で別々に所蔵している雑誌の書誌統合を進める。 ・電子書籍の収集等、新館を見越した資料の収集、整理方法について検討を進める。 	<p>【重複図書の除籍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除籍41,418冊 (R3: 5,076冊、R4: 14,172冊、R5: 22,170冊) <p>【重複雑誌の除籍(H30着手)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄59タイトル (R3: 20タイトル、R4: 34タイトル、R5: 5タイトル) ・R5 県立3館全重複雑誌の状況を整理(残り232タイトル) ・廃棄の済んだタイトルから書誌を統合 <p>【新館を見越した資料の収集・整理方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・《再掲》令和6年度当初予算(案)に電子書籍導入経費を計上 ・その他の資料の収集・整理方法は市場動向を注視し検討 ・新館に向けた整理方法の統一案を検討

役割・機能		重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見通しを含む)
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁や関係部署へ情報収集をし、寄贈資料の収集に努める。また、インターネットでの提供に移行した資料についても、漏れのないように収集する。 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め受入に繋げる。	【千葉県関係資料の収集】 ・県庁ホームページや依頼文書などで幅広く寄贈を依頼 ・新聞記事や広報紙などで刊行情報を入手し寄贈を依頼 ・千葉県資料受入数 購入 885冊(R3:287冊、R4:365冊、R5:233冊) 寄贈6,306冊(R3:2,334冊、R4:2,382冊、R5:1,590冊) 合計7,191冊(R3:2,621冊、R4:2,747冊、R5:1,823冊) 【網羅的収集の検討】 ・連携協力を進める文書館と調整をしながら検討
			【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	【千葉県関係の情報検索ツール】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベース登録 69件(見込み76件) (R3:27件、R4:26件、R5:16件(見込み23件)) ・パスファインダーの作成・改訂4件(見込み5件) (R3:1件、R4:3件、R5:0件(見込み1件)) ・図書館から世界(ニュース)が見える作成 4件 (R3:1件、R4:1件、R5:2件) ・テーマ別リスト作成 42件(見込み46件) (R3:10件、R4:9件、R5:23件(見込み27件)) ・R5.6(東部)X(旧Twitter)で千葉県クイズを発信 ・R5.9~12(東部)房総文学カードを作成・配布 ・R6.1(東部)菜の花ライブラリー活用講座「新春図書館すごろくチャレンジ」開催 ・歴史関係雑誌記事の索引・目次情報を継続して整備
			【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など計画的にデジタル化を進める。	【千葉県資料のデジタル化】 ・保存や公開等の観点から資料を選定・デジタル化 ・菜の花ライブラリーでの公開を進める。 ・R4 菜の花ライブラリーの紹介動画を作成、YouTube(千葉県公式PRチャンネル)で公開 【千葉県関係新聞マイクロフィルムのデジタル化の検討】 ・劣化が進んだフィルム・原紙の保存・公開のためデジタル化を検討
			【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・ポーンデジタル資料の収集やオープンデータの活用など、国内の動向について調査を行う。	【ポーンデジタル資料の収集】 ・ポーンデジタル資料をプリントアウトし収集 R3 逐次刊行物58タイトル261号分(261冊) R4 逐次刊行物33タイトル831号分(831冊) R5 逐次刊行物93タイトル657号分(657冊) 【国内動向の調査等】 ・R4 県内自治体のデジタルアーカイブ状況を調査 ・R4 県内デジタルアーカイブリンク集を作成・公開 ・R4 ポーンデジタル資料の効果的収集の先行事例を調査 ・R5 国内動向調査の手法や内容を検討

役割・機能		重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見直しを含む)
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	【関係機関と連携した事業の実施】 (見込み含む。1事業で複数の相手先と連携した事業があるため、事業数とは一致しない。) ・中央博物館と連携 22件 (R3:6件、R4:7件、R5:9件) ・文書館と連携 7件 (R3:2件、R4:2件、R5:3件) ・さわやかちば県民プラザと連携 6件 (R3:2件、R4:2件、R5:2件) ・県立美術館と連携 3件 (R3:0件、R4:0件、R5:3件) ・現代産業科学館と連携 1件 (R3:0件、R4:0件、R5:1件) ・房総のむらと連携 2件 (R3:0件、R4:1件、R5:1件) ・知事部局関係課と連携 10件 (R3:3件、R4:3件、R5:4件) ・その他と連携 28件 (R3:7件、R4:7件、R5:14件) ・講師派遣 4件 (R3:3件、R4:1件、R5:0件)
			【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	【事業連携に関する意見交換会の実施】 ・中央博物館、文書館、さわやかちば県民プラザと意見交換(R4まで年1回、R5から年2回)
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等の作成を進める。 ・サピエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データの提供を推進する。	【障害者用コンテンツの作成】 ・点訳絵本製作 6タイトル (R3:2タイトル、R4:2タイトル、R5:2タイトル) ・録音図書製作、国会図書館へのデータ提供 25タイトル (R3:6タイトル、R4:11タイトル、R5:8タイトル) ・テキストデータ製作 56タイトル (R3:15件、R4:23件、R5:18件) ・館報テキスト版の発行 R3～(西部)発行開始 R4～(中央)(東部)発行開始

役割・機能	重点項目	主な取組(計画)	計画期間における主な取組(見通しを含む)
		<p>【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。 ・遠隔対面朗読等インターネット等を活用したサービスや県内図書館等との連携を強化する。</p>	<p>【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座 (中央・東部)読書バリアフリー講座 (中央・西部・東部)図書館音訳者養成講座 (中央)サビエ図書館活用講座 (西部)障害者サービス研修会(2回開催)、ICT活用講座 (西部)読書バリアフリー出前講座 ・対面朗読 143回(うち遠隔38回) (R3:31回(うち遠隔6回)、R4:58回(21回)、R5:54回(11回)) ・R5 読めない・読みにくい方のための相談窓口開設 図書館ホームページに相談フォーム開設 R5.5.28 対面・電話・メールによる相談受付開始 ・R5 障害者サービス等に関するリーフレットを作成・配布</p>
		<p>【新しいサービスの研究開発】 ・多言語・多文化社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。</p>	<p>【多言語・多文化サービスの研究】 ・R4 県外先進館の視察を実施 ・R4 県内各自治体の国際交流協会等にアンケートを実施 日本語を母語としない方のニーズを調査 ・R4「子どものための多文化サービス計画」策定 ・R5 令和6年度当初予算(案)に資料購入費を計上</p>
	(3) 情報発信機能の強化	<p>【積極的な広報・PRの推進】 ・ホームページやツイッターによる発信に努めるとともに、ブランディングについて研究を進める。</p>	<p>【積極的な広報・PRの推進】 ・図書館ホームページで展示・イベント等の情報を発信 ・X(旧Twitter)で時宜にあわせた資料紹介等を発信 ・R5 県立図書館100周年記念事業を実施 【図書館ブランディングの研究】 ・R3.12.17 県立図書館職員向け研修会を実施 ・R4 中央図書館広報委員会で試行 ・R5 新県立図書館・県文書館の整備に向けて検討</p>

千葉県立図書館行動計画(令和3年度～5年度)重点項目の取組の評価

(令和6年1月末現在)

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	実績値			達成率			説明
				R3	R4	R5	R3	R4	R5	
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	72,022	69,949	54,977	96.0%	93.3%	73.3%	【評価】 ・減少傾向、計画期間に目標値を達成できず 【要因】 ・新型コロナウイルス感染症、大規模改修による県内図書館の休館・閉館 ・電子書籍やインターネットなど読書・調査媒体の多様化 【対応】 ・市町村図書館等窓口での案内用チラシやX(旧Twitter)で広報
		市町村立図書館等の運営相談件数	120	188	230	184	156.7%	191.7%	153.3%	【評価】 ・目標値を超えて達成 【要因】 ・全54市町村の訪問運営相談を年1回実施 ・電話・メール等相談での、職員の丁寧な対応による相談数の増加
2 図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	研修受講者の満足度	94.5%	90.0%	93.0%	89.2%	95.2%	98.4%	94.4%	【評価】 ・計画期間に目標値を達成できず 【要因】 ・内容は概ね好評だが、オンライン回線の不具合や会場設営・運営などの評価が低い回があった 【対応】 ・研修ニーズの把握 ・開催方法や会場設営の検討

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	実績値			達成率			説明
				R3	R4	R5	R3	R4	R5	
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	2	1	2	2	100.0%	100.0%	100.0%	【評価】 ・目標値どおり達成 ・R3「子どもの読書活動推進センター通信」創刊(年1回発行) ・R4～年2回発行
	(2) 学校図書館への支援の強化	県立学校等への貸出冊数	31,000	19,968	18,724	16,681	64.4%	60.4%	53.8%	【評価】 ・減少傾向、計画期間に目標値を達成できず 【要因】 ・学校においてタブレット端末等使用環境が整備されたことによる調べ学習のインターネット活用の増加 【対応】 ・継続した周知・広報。 ・学校のニーズに応じた「学校用貸出セット」の整備 ・学校向け電子書籍の導入の検討
		学校貸出セットの新規整備・改訂数	10	11	10	12	110.0%	100.0%	120.0%	【評価】 ・目標値どおり達成 ・学校のニーズに応じた「学校用貸出セット」を整備
4 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」発行件数	15	16	17	13	106.7%	113.3%	86.7%	【評価】 ・R3・R4 目標値を超えて達成 ・R5 達成の見込み ・県民向け講座等の関連テーマでパスファインダーを作成・配布するなど効果的な情報発信に努めた

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	実績値			達成率			説明	
				R3	R4	R5	R3	R4	R5		
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県に関する情報発信件数 (レファレンス事例、パスファインダー、テーマ別リスト、「図書館から世界(ニュース)が見える」等作成件数)	40	39	44	71	97.5%	110.0%	177.5%	【評価】 ・R3 目標値を達成できず ・R4・R5 目標値を超えて達成 【要因】 ・R3 新型コロナウイルス感染症の影響による展示中止に伴う資料リストの作成減などで減少 ・R4～ 千葉県内デジタルアーカイブリンク集や菜の花ライブラリーの紹介動画などの情報提供による増加
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	連携事業の実施回数	15	16	18	24	106.7%	120.0%	160.0%	【評価】 ・目標値を超えて達成 ・多様な関連機関と講師派遣や招聘を行い専門性を活かした事業を開催 ・R5 千葉県誕生150周年、関東大震災100年などの記念事業との連携により増加
		(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数	25	28	38	26	112.0%	152.0%	104.0%	【評価】 ・目標値を超えて達成
		(3) 情報発信機能の強化	X(旧ツイッター)の発信件数	360	528	452	395	146.7%	125.6%	109.7%	【評価】 ・目標値を超えて達成

※ R5実績値は、令和6年1月末現在

千葉県立図書館行動計画(令和3年度～5年度)の評価

1 総括(自己評価)

(1)取組状況の評価

「千葉県立図書館行動計画(令和3年度～5年度)」の取り組みを評価する指標として設定した11項目の評価指標のうち、目標を達成した項目は7項目(表1のとおり)である。目標未達となった項目の主な要因については、電子書籍・インターネットなど読書・調査媒体の多様化や、新型コロナウイルス感染防止対策による影響が大きいと考えている。特に、「市町村立図書館等への貸出冊数」と「県立学校等への貸出冊数」は、年々減少しているため、対策の検討が必要である。

表1

役割・機能	評価指標	評価
図書館ネットワークの発展	市町村立図書館等への貸出冊数	目標未達
	市町村立図書館等の運営相談件数	目標達成
図書館職員の資質向上	研修受講者の満足度	目標未達
子どもの読書活動の推進	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	目標達成
	県立学校等への貸出冊数	目標未達
	学校貸出セットの新規整備・改訂数	目標達成
課題解決支援図書館	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」発行件数	目標達成
千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	千葉県に関する情報発信件数	目標未達
知の創造と循環を生み出す公共の場	連携事業の実施回数	目標達成
	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数	目標達成
	X(旧ツイッター)の発信件数	目標達成

(2) 計画期間における新たな取組

「千葉県立図書館行動計画(令和3年度～5年度)」においては、ICT環境の進展や新たな法律の制定などと連動して、新たなサービスの提供(表2のとおり)に取り組んだ。

特に、障害者サービスについては、「千葉県読書バリアフリー推進計画」の策定を受けて、相談窓口を開設するなど読書バリアフリーを推進した。

表2

項 目	新たな取組
図書館職員の研修	オンライン配信や動画配信
子どもの読書活動の推進	子どもの読書活動推進センター通信の創刊
多文化サービス	世界とふれあうおはなし会の実施
利用者サービス	郵送による複写サービスのオンライン申込みフォームの開設 館内閲覧資料の取り寄せフォームの開設
障害者サービス	読書バリアフリー相談窓口の開設 読書バリアフリー出前講座の開始 遠隔対面朗読の本格実施

(3) 新館における図書館サービスの準備

新館における図書館サービスの提供に向けて、ICタグ貼付業務の委託や、新図書館システムの仕様原案作成などに取り組んだ。

表3

項 目	取組状況
図書館資料ICタグ貼付	令和6年3月から貼付作業を開始(令和8年度まで作業予定)
新図書館システムの検討	令和5年度 システム導入に関する情報提供依頼(RFI)を実施

2 課題及び今後の取組について

千葉県立図書館行動計画(令和3年度～5年度)の実施状況を踏まえた上で、図書館サービスの課題の解決に向けて取り組んでいく。

表4

課 題	今後の取組
市町村立図書館等への支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを踏まえた蔵書構築、相談事業の推進に努める。 ・新館移転後の物流体制、最後の1冊保存体制について、市町村立図書館等の考え方などを確認・整理し、方向性等の検討を進める。
図書館職員研修センター 機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・アーカイブ化も含め、受講者のニーズに応じた内容や方法において研修ができるように努める。
地域の子どもの読書環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進計画(第5次)策定を見据えて、市町村立図書館等との連携を図り、サービスの推進に努める。
学校図書館への支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校への電子書籍の導入の在り方を検討する。 ・よりニーズに応じた資料の貸出しや支援に努める。
千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化に取り組む。 ・マイクロフィルムや原紙の劣化が進んでいる千葉県関係新聞のデジタル化に着手する。
図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・非来館型サービスと読書バリアフリーの推進を図るため、電子書籍の導入及び利用拡大のための広報を進める。 ・資料の劣化状況や利用者ニーズを踏まえて、資料のデジタル化を計画的に推進する。 ・「千葉県読書バリアフリー推進計画」等を踏まえ、障害者サービスの充実やサービスの周知に努める。 ・高齢者向けサービスとして、令和5年度に開始した「はつらつ音読教室」のノウハウを蓄積し、県内への普及を図る。
情報発信機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館として目指すブランディングの方向性を共有する。 ・図書館ホームページ、X(旧ツイッター)により、時宜を得た情報発信を行う。

【図書館協議会としての総評】(案)

「図書館ネットワークの発展」「図書館職員の資質向上」「子どもの読書活動の推進」「千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承」については、目標未達となった指標があるため、市町村立図書館や県立学校等のニーズなどを十分検証した上で、次期行動計画では、より効果的な評価指標の設定を検討されたい。

「千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承」については、まず網羅的に収集した上で情報発信していくことが重要。網羅的に収集できたかどうかを評価すべきで、収集に係る指標を検討されたい。

新しい図書館の計画には、魅力的だから「行こう」と思えるアピールが必要。次期行動計画から、新館での図書館サービスを意識して取り組んでもらいたい。

新館においては、時代の要請に応じて、バーチャルな機能で千葉県全域からアクセスできる場をつくりあげる方向に行かなくてはならない。「建物はひとつだけれど千葉県民全員が利用できる。」というプランを期待している。

千葉県立図書館行動計画の評価指標 対照表

令和3年度～5年度			令和6年度～8年度(案)		
役割・機能	重点項目	評価指標	役割・機能	重点項目	評価指標
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等への貸出冊数 市町村立図書館等の運営相談件数	1 県内図書館の中核としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等の運営相談件数
2 図書館職員の資質向上	(2) 図書館職員研修センター機能の強化	研修受講者の満足度		(2) 図書館職員研修センター機能の強化	研修会の受講者数
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	子どもの読書活動推進センターページアクセス数
	(2) 学校図書館への支援の強化	県立学校等への貸出冊数 学校貸出セットの新規整備・改訂数		(2) 学校図書館への支援の強化	貸出利用があった県立学校等の割合
4 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」発行件数	3 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」ページ閲覧数
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県に関する情報発信件数 (レファレンス事例、パスファインダー、テーマ別リスト、「図書館から世界(ニュース)が見える」等作成件数)	4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料受入数(購入を除く) レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例の閲覧数
			6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	電子書籍の利用数
	(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数	5 県民が利用しやすいサービス	(1) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	国立国会図書館提供データダウンロード数
	(3) 情報発信機能の強化	X(旧ツイッター)の発信件数	6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座等の参加人数 X(旧ツイッター)のフォロワー数
				(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施回数 連携イベント参加者数

千葉県立図書館行動計画(令和6年度～8年度)の評価指標(案)

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	説明	実績値		
					R3	R4	R5
1 県内図書館の中枢としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等の運営相談件数	345	評価指標 R3～5評価指標と同じ 目標値 運営相談件数のうち訪問運営相談件数は、これまでの「(訪問回数)」から、電話等相談件数と同じ「相談内容ごとの件数」に変更 R5実績見込値346(R5. 1月末現在の289÷10月×12月)から、過去2年間の平均値340の約2%増で設定	(188)	335 (230)	289 (184)
	(2) 図書館職員研修センター機能の強化	研修会の受講者数	720	評価指標 R3～5評価指標「研修受講者の満足度」は、オンライン研修における機器の不具合などが満足度評価に影響する傾向が増えてきたことから、ニーズに合った研修を広く提供できたかを評価するための指標として「研修会の受講者数」を設定 目標値 コロナ禍前の受講者数(H30年度・710人)の約2%増で設定 新型コロナウイルス感染症拡大の影響と、新任職員研修会のアーカイブ受講開始による急激な増加を考慮	653	744	678
2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	1,030	評価指標 子どもの読書活動推進センターで取り組んでいる多文化サービスやYAサービスなどの情報発信効果を評価するための指標として「センターページアクセス数」を設定 目標値 R5実績見込値980(R5. 1月末現在の817÷10月×12月)から、過去3年間の平均値1,013の約2%増で設定	1,107	953	817
	(2) 学校図書館への支援の強化	貸出利用があった県立学校等の割合	45.0%	評価指標 学校での探究学習においてインターネットを活用する利用形態に変化していることも鑑み、学校図書館の現状に即した支援を評価するための指標として「貸出利用があった県立学校等の割合」を設定 目標値 過去3年間の平均値43.3の約2%増で設定	44.2%	41.2%	44.6%
3 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」ページ閲覧数	47,020	評価指標 パスファインダー(主体的に資料、情報を収集する時の道しるべとなるツール)、「図書館から世界(ニュース)が見える」(ニュースに取り上げられた社会的な問題の解決に取り組んだり、文化への理解を深めたりする際に役立つツール)の利用状況を評価するための指標として「ページ閲覧数」を設定 目標値 R5実績見込値41,050(R5. 1月末現在の34,208÷10月×12月)から、過去3年間の平均値46,101の約2%増で設定	53,301	43,953	34,208

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	説明	実績値		
					R3	R4	R5
4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料受入数(購入を除く)	2,250	評価指標 R3～5評価指標「千葉県に関する情報発信件数」は、目標を概ね達成できたことから、千葉県関係資料の収集にかかる指標として購入を除く「受入数」を設定 目標値 R5実績見込値1,908冊(R5. 1月末現在の1,590÷10月×12月)から、過去3年間の平均値2,208件の約2%増で設定 (1館集約に向けて県立図書館3館間の複本受入を減らしている)	2,334	2,382	1,590
		レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例の閲覧数	96,850	評価指標 新たな指標として設定 目標値 R5実績見込値93,932から、過去3年間の平均値94,954件の約2%増で設定	109,678	81,252	93,932
5 県民が利用しやすいサービス	(1) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	電子書籍の利用数	20,000	評価指標 新たな指標として設定(利用数をカウントする) 目標値 R5購入予定5,000冊×4回利用で設定	-	-	-
		国立国会図書館提供データダウンロード数	5,670	評価指標 R3～5評価指標「障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数」は、目標を概ね達成できたことから、作成コンテンツの利用状況を評価するための指標として「ダウンロード数」を設定 目標値 R5実績見込値5,689(R5. 1月末現在の4,741÷10月×12月)から、過去3年間の平均値5,561の約2%増で設定	4,840	6,155	4,741
6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座等の参加人数	395	評価指標 新たな指標として設定(新館における「知の創造と循環を生み出す場の実現」に向けて県民参加の機運の醸成状況を評価する指標として設定) 目標値 過去3年間の平均値384の約2%増で設定	299	409	446
		X(旧ツイッター)のフォロワー数	208	評価指標 施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標(アウトカム指標)とすることが適切と考え、R3～5評価指標「発信件数」から「フォロワー数」に変更 目標値 R5実績見込値157から、過去3年間の平均値204の約2%増で設定	242	213	138
	(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施回数	20	評価指標 R3～5評価指標と同じ 目標値 過去3年間の平均値19の約2%増で設定	16	18	24
		連携イベント参加者数	364	評価指標 新たな指標として設定(連携事業の活用状況を評価するため、連携事業のうちイベントの「参加者数」を設定) 目標値 過去3年間の平均値357の約2%増で設定	294	438	341

※R5実績値は、R6年1月末現在。

千葉県立図書館行動計画(令和6年度～8年度)(案)

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	主な取組	スケジュール						
					R6	R7	R8				
1 県内図書館の中枢としての役割	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	市町村立図書館等の運営相談件数	345	運営相談の実施 ・全市町村を訪問し、図書館運営等について助言や援助を行う。 ・電話やメール等による運営相談は随時受け付ける。	▶	▶	▶				
				資料の図書館間貸出 ・市町村立図書館等の求めにより、県立図書館所蔵資料を提供する。	▶	▶	▶				
				市町村立図書館等職員への情報発信 ・図書館ホームページを活用し情報の発信・共有を行う。	▶	▶	▶				
				新館における資料搬送サービスの検討 ・市町村に対するアンケート調査を実施し、新館における資料搬送について検討を進める。	▷	▷	▷				
				県内最後の1冊保存体制の検討 ・県内図書館の意見を聴取し、共通ルール(案)を作成する。	▷	▷	▷				
	(2) 図書館職員研修センター機能の強化	研修会の受講者数	720	研修会の実施 ・経験別研修、分野別研修の研修結果を分析し、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶				
				研修機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や地域別開催、研修動画の配信を実施する。	▶	▶	▶				
				研修会のアーカイブ化 ・国内事例等の調査や課題等の洗い出しを行い、研修会のアーカイブ化について検討を進める。	▶	▶	▶				
				2 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	子どもの読書活動推進センターページアクセス数	1,030	読み聞かせ活動の推進 ・読み聞かせボランティア養成講座や組織運営を学ぶ講座等を実施する。 ・読み聞かせボランティア等の活動の場を提供する。	▶	▶	▶
								県立学校への電子書籍サービスの提供 ・県立学校のICT環境を活用して、県立図書館の電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶
ヤングアダルトサービスの拡充 ・市町村立図書館や学校図書館等の担当者を対象とした研修会を実施する。 ・ヤングアダルトサービスに関する情報交換等の場を提供する。 ・市町村立図書館や学校図書館等と連携事業を研究する。	▷	▶	▶								
外国にルーツのある子どもや保護者等への支援 ・母語に触れることができる児童書等を収集する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会等子ども向けの国際交流を目的としたイベントを実施する。 ・関連諸機関に県立図書館の多文化サービスについての情報を提供する。 ・市町村立図書館等の多文化サービスを支援する。	▷	▷	▶								
聴覚や言語に障害のある子どもやその保護者への支援 ・手話付きおはなし会の開催を研究する。 ・病院等への出前事業などアウトリーチサービスを研究する。	▷	▷	▶								
児童書選定支援用資料の収集 ・市町村立図書館等向けの児童書選定支援用資料の収集範囲や運用等の検討を進める。 ・児童書選定支援用資料のモデル展示や出張展示、リスト公開等について検討を進める。	▷	▷	▶								
子どもたち自身が参加するイベント等の実施 ・図書館マイスター講座、読書会やビブリオバトルを実施する。 ・本の紹介POP作成など設備・機材を活用したイベントについて研究する。	▷	▷	▶								

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	主な取組	スケジュール		
					R6	R7	R8
	(2) 学校図書館への支援の強化	貸出利用があった県立学校等の割合	45.0%	資料の貸出 ・調べ学習用の学校貸出セットを整備(新規作成・改訂)し提供する。 ・未登録校に対し、新規登録を促進する。 県立学校の読書活動の支援 ・県立高等学校の生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。 ・県立特別支援学校を訪問し、読書活動を支援する。 学校における探究学習の支援 ・教科書単元・テーマ別資料リストを作成(追加・改訂)し提供する。 ・図書館を活用した授業等についての情報を発信する。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。 市町村立図書館等と小・中学校図書館連携の支援 ・教科書単元・テーマ別資料リストなど資料情報を市町村立図書館等を通じて学校図書館に周知する。 資料の県立学校間貸出 ・県立学校等の相互貸借について、ニーズを把握するために実態調査を実施し、運用等の検討を進める。	▶	▶	▶
3 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	パスファインダー及び「図書館から世界(ニュース)が見える」ページ閲覧数	47,020	課題解決支援サービスの提供 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を提供する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集・提供する。 ・テーマごとに基本資料や調査方法をまとめたパスファインダー(調べ方案内)を作成・提供する。 ・時事問題等に関する情報提供サービスとして「図書館から世界(ニュース)が見える」を作成・提供する。 オンラインデータベースの整備 ・県民のニーズに対応した幅広い分野のデータベースを整備する。 オンラインデータベースの利用時間の拡充 ・図書館の閉館時間帯でもデータベース利用ができるサービスについて研究する。 県政の重要課題の把握 ・県政の重要課題の把握に努め、課題に沿った資料の収集を行う。 ・県議会図書室と連携して県議会議員の調査研究活動を支援する。 県内機関との連携強化 ・県内機関の活動や取組に関する情報を、図書館の情報発信機能等により県民に提供する方法を研究する。 県の政策形成の支援 ・千葉県の政策や関連イベント関係資料の収集・提供方法を検討する。 ・情報探索技術向上研修など県職員向けの研修講座を企画する。 新館における資料管理の検討 ・電子書籍の収集など新館における資料収集・整理・管理方法を検討する。 新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究 ・多様化・専門化する県民ニーズに応えられる蔵書構築を目指し、各主題の情報収集や研究を行う。 ・各主題における資料や情報源に関する知識を有する司書の育成方法を研究する。	▶	▶	▶

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	主な取組	スケジュール		
					R6	R7	R8
4 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	千葉県関係資料受入数(購入を除く)	2,250	千葉県関係資料の網羅的収集 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め、千葉県関係の寄贈資料を収集する。 ・官公庁等のポーンデジタル資料を漏れなく収集する方法を研究する。	▶	▶	▶
		レファレンス協同データベース千葉県関係レファレンス事例の閲覧数	96,850	千葉県関係資料の提供 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースにデータを提供する。 ・パスファインダー、テーマ別リスト、書誌情報など千葉県関係情報に到達しやすい環境を整備する。 ・千葉県関係資料データベース「葉の花ライブラリー」にデータを追加する。	▶	▶	▶
				千葉県関係情報のデジタルアーカイブ化 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料などのデジタル化を計画的に進める。	▶	▶	▶
				インターネット上の地域行政資料の収集・提供方法の検討 ・県として遺すべき千葉県に関するインターネット上の情報の収集方法を検討する。 ・県や他機関等の未デジタル化情報の状況を調査し、公開に向けた連携・支援の方法を検討する。	▷	▷	▷
5 県民が利用しやすいサービス	(1) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	電子書籍の利用数	20,000	電子書籍サービスの提供 ・電子書籍を整備し、電子書籍サービスを提供する。	▶	▶	▶
		国立国会図書館提供データダウンロード数	5,670	障害者用コンテンツの提供 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等を作成し提供する。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データを提供する。	▶	▶	▶
				遠隔対面朗読の実施 ・ウェブ会議システム等を使用して、図書館に来館せずに自宅等で利用できる音訳サービスを提供する。	▶	▶	▶
				講座・イベントのオンライン開催 ・ウェブ会議システム等を活用し、オンライン上で講座・イベントを開催する。 ・講座・イベント会場から同時配信する環境を整備する。	▶	▶	▶
				読書バリアフリーの推進 ・市町村立図書館職員、学校教職員、支援者等への公開講座や出前講座を開催する。 ・市町村立図書館等に読書バリアフリー資料紹介セットを貸出す。 ・関係機関と情報共有ネットワークを構築し、サービスを必要とする人に情報を届ける。	▶	▶	▶
				高齢者の「生涯現役社会」につながるサービスの提供 ・高齢者の社会参加や課題解決につながる情報提供やサービスを提供する。	▷	▷	▶
				多文化サービスの提供 ・日本語を母語としない県民やその支援者のニーズを調査し、多文化サービスのあり方を研究する。 ・図書館見学会や外国語でのおはなし会などのイベントを実施する。	▷	▷	▶
				新館におけるバリアフリーサービスの研究 ・オンライン手話通訳サービス、手話通訳者や託児スタッフの配置など新しいサービスのあり方を研究する。 ・障害や発達段階別のおもちゃや福祉機器等に触れられるイベント等の実施について研究する。	▷	▷	▷
				新館における非来館型サービスの研究・開発 ・利用案内、調べ案内の24時間対応サービスについて研究・開発する。 ・簡易レファレンスのオンライン・自動対応化について研究・開発する。 ・スマートフォンで利用できるバーチャル図書館について研究・開発する。 ・県立図書館資料の県内市町村立図書館等での受取・返却について研究する。	▷	▷	▷

役割・機能	重点項目	評価指標	目標値	主な取組	スケジュール		
					R6	R7	R8
6 機能の重なりから生まれるもの	(1) 知的交流の場の提供	県民向け講座等の参加人数	395	県民向け講座の実施 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶
				県民向け講座の受講機会の拡充 ・オンラインによる遠隔開催や出前講座の開催、研修動画の配信を実施する。	▷	▶	▶
				学びの直し場の提供 ・県民が自学自習できる場としての機能・環境を提供する。	▶	▶	▶
	県民参加型プロジェクトの研究 ・県民が継続的に参加できる多様なプロジェクトのあり方を研究する。		▷	▷	▶		
	県民が交流できる場の提供 ・図書館協力者、ボランティア、市民活動団体等の連携・協働を促進するための交流会を企画する。 ・図書館協力者、ボランティアの育成研修会を企画する。		▷	▷	▶		
	新館における知的交流のあり方の研究 ・県民が人脈形成しながら連携・協働ができる場について研究する。 ・新館に整備予定の研修室や展示コーナー等の活用方法について検討する。		▷	▷	▷		
		X(旧ツイッター)のフォロワー数	208	積極的な広報・PRの推進 ・県立図書館ホームページ、X(旧ツイッター)で、積極的に情報を発信する。	▶	▶	▶
	(2) 博物館などとの連携の推進	連携事業の実施回数	20	連携事業の実施 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。	▶	▶	▶
連携イベント参加者数		364	連絡調整会議の開催 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等との連絡調整会議を定期開催する。	▶	▶	▶	

※各年度とも目標値を目指す。

凡例 ▶ 実施
▷ 検討

千葉県立図書館行動計画(令和6年度～8年度)の評価基準(案)

各年度とも目標値を目指し、年度の評価は目標を達成することができれば○、達成できなければ×とする。

なお、令和6年度～8年度の3年間の評価基準は以下のとおりとする。

評価	内容	目安
S	目標を達成し、さらにサービスの向上が大きく図られた。	3年間、すべての年度の評価が○の場合。
A	目標を達成し、サービスの向上が図られた。	2か年の評価が○の場合。
B	目標には届かなかったが、今後のサービス向上に期待できる。	2か年の評価が×であるが、最終年度○の場合。
C	目標に届かず、サービスの向上に至らなかった。	最終年度も含む2か年の評価が×の場合。
D	目標に届かず、サービス向上のためには相当の努力を要する。	3年間、すべての年度の評価が×の場合。

令和 6 年度千葉県立図書館当初予算（案）

(3館合計金額 単位:千円)

事業名	令和6年度(案) (A)	令和5年度 (B)	前年度比 (A)/(B) %	摘 要
1 資料の収集 (図書等購入費) (逐次刊行物購入費)	66,486 (53,326) (13,160)	66,128 (53,032) (13,096)	100.5% (100.6%) (100.5%)	県民の調査研究活動支援や市町村図書館及び高等学校等への協力・援助を行うための資料収集・整備費 【主な増減】 ・子どものための多文化サービス資料 226千円(新規)
2 利用者サービス業務	65,700	17,137	383.4%	県民の調査研究や読書活動支援のための専門的な資料・情報提供、障害者サービス・子どもの読書推進に係る経費 【主な増減】 ・電子書籍コンテンツ購入 41,400千円増(新規) ・千葉県関係資料のデジタル アーカイブ化 7,300千円増(新規) ・データベース利用 824千円増
3 協力・援助業務	21,679	19,153	113.2%	市町村図書館や行政・大学・高等学校等に対して資料の相互貸借・搬送、運営相談に係る経費 【主な増減】 ・相互貸借搬送 2,299千円増
4 電算業務	98,085	96,683	101.5%	図書館業務用電算システム維持管理費 中央で図書館システムを3館分一括契約(電算機器賃貸借95,040千円) 【主な増減】 ・電算用消耗品 1,403千円増
5 その他の図書館運営費	267,942	247,734	108.2%	館舎の維持管理・運営・広報等に係る経費 中央でICタグ貼付を3館分一括契約(ICタグ貼付業務委託36,582千円) 【主な増減】 ・ICタグ貼付業務 32,701千円増 ・光熱水費 8,621千円減
合 計	519,892	446,835	116.3%	

千葉県立図書館サービス計画（素案）について

趣 旨

「千葉県立図書館基本構想」の実現に向け、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に示す事業計画として、現在、「千葉県立図書館行動計画」を公表しているところであるが、新館設置以降は「千葉県立図書館サービス計画」とし、県立図書館事業に関する基本的な方針・施策を定め、引き続き公表していく。

○図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

二 都道府県立図書館

6 準用

第二の一に定める市町村立図書館に係る基準は、都道府県立図書館に準用する。

経 緯

- 平成30年 1月 「千葉県立図書館基本構想」策定
- 平成30年 9月 「千葉県立図書館行動計画（平成30～32年度）」策定(第1次)
- 令和 元年 8月 「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」策定
- 令和 3年 7月 「千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）」策定(第2次)
- 令和 3年 8月 「新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画」策定
- 令和 4年10月～ 「千葉県立図書館サービス計画（素案）」検討開始
- 令和 6年 3月 「千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）」策定(第3次)予定
- 新館設置以降～ 「千葉県立図書館サービス計画」策定(予定)

スケジュール

年 度	令和3	4	5	6	7	8	～	11	～	16	
名 称	第2次行動計画（3年）							新館設置以降			
行 動 計 画	→			→			→				
サ-ビス計画								→			

※千葉県立図書館サービス計画は、新館設置以降、運用していく。

計画概要

1 計画の位置付け等

(1) 計画の位置付け

本計画は、「千葉県立図書館基本構想」の目指す姿を「新千葉県立図書館・県文書館複合施設」において実現するため、「千葉県立図書館行動計画」での取組と課題、DX化の進展など社会状況の変化を踏まえて策定する。

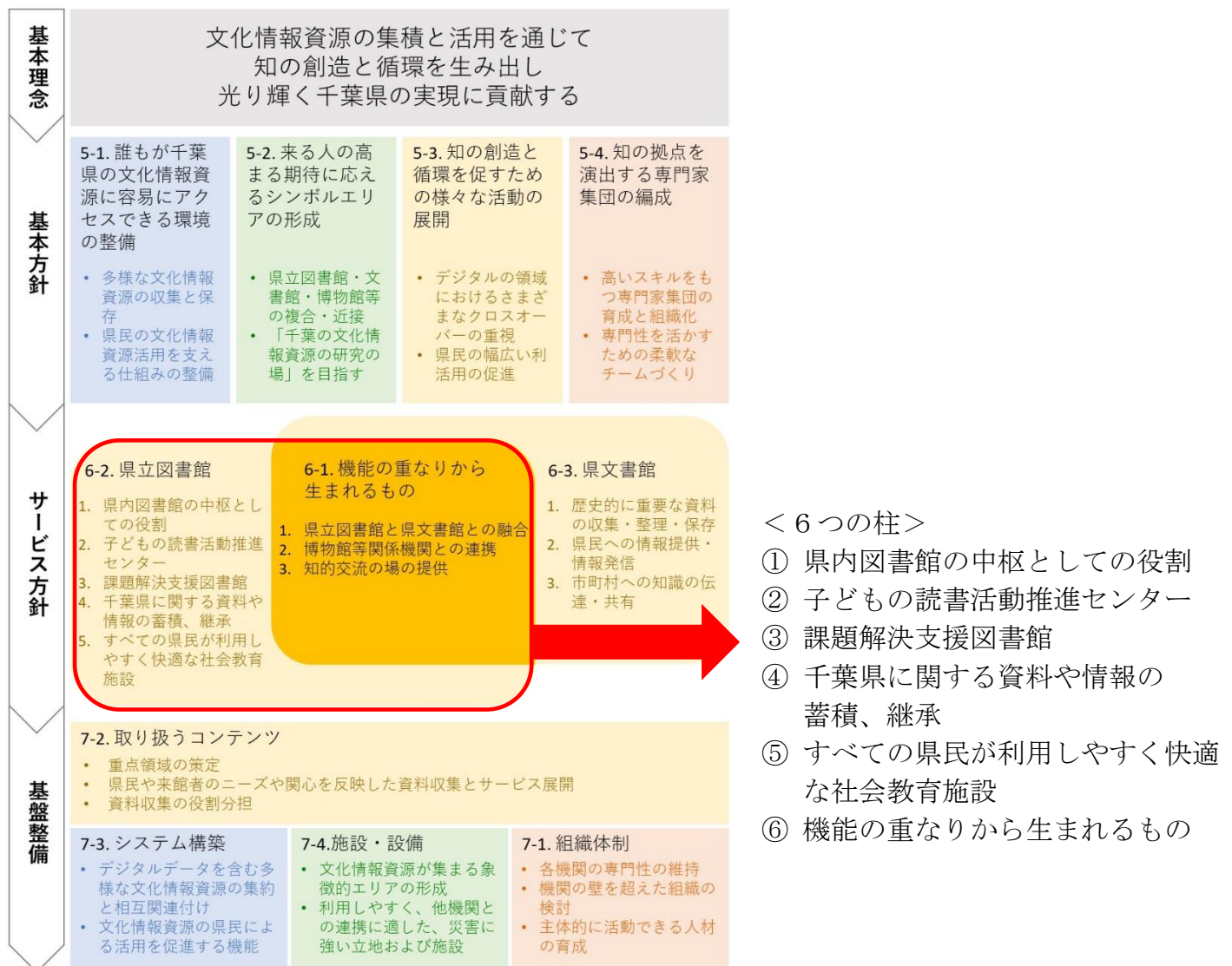
なお、現行「千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）」は別途「千葉県立図書館行動計画（令和6～8年度）」として更新する。

(2) 計画期間 新館設置以降6年間

(3) 計画の策定及び公表

図書館協議会にて計画の策定並びに毎年の事業結果及び事業計画についての承認を得るとともに、計画最終年度には達成状況の自己点検及び第三者評価を公表する。

「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」(令和元年8月 千葉県・千葉県教育委員会)の全体像



【以下、添付省略】

千葉県読書バリアフリー推進計画にかかる市町村実態調査の結果について

令和6年3月13日

千葉県教育庁生涯学習課

県読書バリアフリー推進計画では、読書バリアフリー推進に係る目標を設定し、毎年進捗状況を確認するとしております。市町村の進捗状況については、生涯学習課が実施する調査において把握することとしており、今年度の調査結果がまとまりましたので、報告します。

1 実施時期

令和5年11月

2 対象

県内市町村教育委員会に依頼（回答率100%）

- ・県内37市16町1村のうち、図書館設置は40市町（35市5町）。（前年から1市増）
- ・千葉県公共図書館協会加盟87館（図書館73館、公民館図書室等14館）の結果を反映。（前年から1館増）

3 市町村実態調査結果に関連する読書バリアフリー推進に係る目標

区分	指標	計画掲載数値 (※注記のないものは R3実績)	R5 調査結果	目標	
視覚障害者等による図書館の利用に係る体制を整備する	図書館施設、読書支援機器の整備	点字ブロック	37/86 館	43/87 館	100%設置
		対面朗読室	28/86 館	29/87 館	増加を目指す
		拡大読書器	41/86 館	41/87 館	増加を目指す
	障害者サービス登録利用者数		1,167 人	1,028 人	人数の増加を目指す
	バリアフリー資料の所蔵冊数	点字図書	13,208	13,691	増加を目指す
		大活字本	86,198	87,491	
		録音図書	20,053	20,112	
	視覚障害者等へのサービスを資料により案内している自治体の割合		33.3% (18/54 市町村) (R4.10 時点)	31.5% (17/54 市町村)	県内市町村の100%において実施
	視覚障害者等向けサービスを開始している自治体の割合（対面朗読、点字図書・録音図書の貸出のいずれかを実施）		70.4% (38/54 市町村) (R4.10 時点)	72.2% (39/54 市町村)	県内市町村の80%において実施
読書バリアフリー推進計画を策定した市町村数		1 市	1 市	20 市町村で策定	

区分	指標	計画掲載数値 (※注記のないものは R3実績)	R5 調査結果	目標
インターネット を利用したサー ビスの提供体制 を強化する	年間データ提供件数 (製作したアクセシブルな書籍 等の資料データを国立国会図書 館に提供)	3市 (157件)	3市 (123件)	6市町村で データ提供を 実施
	オンライン対面朗読実施 回数	0市0回	1市8回	増加を目指す
	国立国会図書館視覚障害 者等用データ送信サービ スまたはサピエ図書館に よりデータをダウンロードし、利用者 に提供している自治体数	13/54 (R4.10時点)	16/54	20市町村で提 供
特定書籍・特定 電子書籍等の製 作を支援する	〔再掲〕年間データ提供 件数	3市 (157件)	3市 (123件)	6市町村で データ提供を 実施

4 課題と対応

- ・県の作成した読書バリアフリーリーフレットを、県内市町村の図書館等のほか学校や福祉部門にも配付することで、従来図書館を利用していなかった対象者にも情報を届け、登録利用者や、サービス利用の増加につなげる。
- ・資料による障害者サービスの案内については、リーフレットなど独自に案内を作成していない市町村にも、県作成の読書バリアフリーリーフレットを活用して広報してもらう。
- ・市町村での推進計画策定については、策定予定の3市の求めに応じた助言を行い、未定の50市町村に対しては、職員研修等において計画の趣旨等について説明し、策定を促す。